

市報 さがえ

2022
9.5
No.1798

目次

特別対談／認知症を考える……	2
特集／さがえ市オレンジ月間 ～私たちと認知症～……	5
令和5年度認可保育施設の 利用申込は10月3日から……	10
さがえニュース……	12
さがえコラム……	13
さがえフォトスタジオ……	14
生涯学習のまど……	16
お知らせ……	18

寒河江市
祝
はたちの
式典



希望ある未来へ はたちの門出



市長 私も、認知症サポーター養成講座で、早期受診や早期治療が、大変大事だと教わった記憶があります。

小松 認知症の進行そのものには、脳の器質的变化の他に、身体的状態や精神的状態、周囲の環境などが関係すると考えられています。早期に診断することによって、本人はもとより、ご家族や周囲の方々にも、その後の対応などを考えていただく機会になればと思います。これからは「認知症になったら終わり」ではなく、認知症になったから「どう生きていくか」と考える時代なのかなと思います。

市長 しかし実際、病院に行くのではないかと思いますね。

小松 分かります。認知症の方のほとんどは、自分が病气だという自覚がありません。急に病院に行こうと言われても、なぜなのか

理解できないこともあると思います。一方で、自分は認知症かもしれないという不安な気持ちになる方もいると思います。認知症だという事実を無理やり突きつけるのはいいと思いませんが、「もっと早く受診をして、検査や治療を受けておけばよかった」と後悔することがないようにしていただきたいと思っています。認知症は長く付き合う病气ですので、身近で相談に乗ってくれるかかりつけ医がいると非常に心強いと思います。まずは、身近なかかりつけ医に相談してみることをおすすめします。

市長 検査というのは、どういうものなのでしょう。また、検査にはどのくらいの費用が掛かるものなのでしょうか。

小松 最初に問診などの診察を受け、その後どのような検査を受けるかが決まります。検査には、記憶や言語のテスト、血液検査、



脳画像診断、脳の血流の検査等があります。初期ほど診断が難しいので、詳しい検査を行う専門医や認知症疾患医療センターへ紹介する場合もあります。料金は診察内容や保険の負担割合などによって変わりますが、大まかには最初は4千円から1万円ちょっとというところかと思っています。

認知症はどのよう進行するのか

市長 認知症の進み方について知りたい方もいらっしゃると思いますが、その辺はどうでしょう。

小松 認知症の原因疾患にもよりますが、多くの場合は徐々に進行します。認知症の進行について大まかに分類すると、軽度、初期、中期、重度に分けられます。まず、日常生活はこれまで通り送ることができるものの、以前できていたことができなくなったり、記憶力が低下し始めたりする軽度認知症の段階。次に、自立はしているものの、記憶力の低下が進み、手順を踏むことや複数の作業を同時に行うことが難しくなったり、仕事や家事が失敗しやすくなったりする初期の段階。この頃には無気力や物取られ妄想などの周辺症状が現れることもあります。そして、

かなと感じたところです。

小松 若年性認知症といいますが、若い方でも患う可能性のある病气ですが、その多くは高齢の方がなっていると考えていいと思います。残念ながら、今の医療では認知症を完全に治すことはできませんが、早期であれば進行を抑えることができるようになっていきます。医療は少しずつ進歩しています。

早期受診が重要

市長 認知症は、やはり早めを受診した方がいいのでしょうか。

小松 ひと口に認知症といっても、たくさん種類があります。それぞれ症状や経過が違いますので、全てを語るのには非常に難しいけれど、先ほど申しました通り、早期には薬で進行を抑えることができるようになってきていますし、原因となる病気を治すことで、認知症の症状が改善するというような場合もありますので、認知症診療で、早期受診は大きな要素になると思います。

小松栄一医師

寒河江市認知症初期集中支援チーム検討委員会の会長を、平成28年度から務められているほか、長年、在宅医療や高齢者の介護に係る診療にも取り組まれています。

- ・医療法人小松医院理事長
- ・やまがたオレンジドクター（「かかりつけ医認知症対応力向上研修」を修了）
- ・社会福祉法人松寿会特別養護老人ホーム長生園理事長
- ・寒河江市医師会副会長
- ・寒河江市介護保険運営協議会会長



特別対談
認知症を考える

世界アルツハイマー月間を迎えるに当たり、認知症サポーターである佐藤市長と、在宅医療や高齢者の介護に係る診療に長年取り組まれている医療法人小松医院の小松医師に、認知症について対談いただきました。

佐藤市長（以下・市長） 9月は世界アルツハイマー月間です。今日は「やまがたオレンジドクター」でいらつしゃいます小松栄一先生に、認知症について、いろいろとお話しを伺います。よろしくお願いたします。

小松医師（以下・小松） よろしくお願いたします。

市長 私は毎年、数え百歳になられる市民の方に賀詞を贈呈させていただいていますが、今年は35人いらつしゃいました。10年前は13人で、この10年間で約2・5倍になり、大変素晴らしいことだと思っています。一方、私が認知症サポーター養成講座を受講した際に、認知症は高齢の人ほどなりやすいと教わり、明日は我が身なの

やまがたオレンジドクター
小松栄一医師

認知症サポーター
佐藤洋樹市長

家族・周囲の支え合い

小松 認知症は徐々に症状が進行し家族の介護が必要になってきますが、初期の認知症は変化が目に見えないので、家族の大変さも理解されづらいところがあります。また、記憶障害をきたさない認知症もあるため、周囲から理解されにくい状況もよく見られます。

市長 家族の方が認知症と向き合うときは、どのようなことに気を付けたいでしょうか。

小松 まず、ご家族が認知症への理解を深めることが大切です。最近ではご家族が認知症を隠すようなことはなくなりつつありますが、認知症への理解不足からくる介護の在り方が、認知症の方の病状を悪化させてしまう場合があること



を理解していただきたいと思えます。認知症自体と認知症の人とを理解して、受容的な姿勢で相手をするのが重要です。また、家族だけで認知症の方の介護を行うおとしないことだと思えます。認知症の多くは、治ることがありませんので、長く付き合うことになりま。専門的な知識を持った人の協力を得ながら、無理のない範囲で介護を続けることが大切だと思います。

市長 相談できる人や助けてくれる人がいると思うと、心の余裕も出てくるのではないのでしょうか。

小松 そうですね。家族の表情や態度は、非言語メッセージとして本人にも伝わります。家族が怒ったり、不安な表情や困った表情をしたりすると、本人の不安や混乱はより強くなる場合があります。市長 病気が分かっているとしても、余裕がなくて心を落ち着かせづら

いこともあるかと思えますけれど、そういったときは認知症カフェを利用してみるのもいいかもしれませんね。情報提供や相談も気軽にできて、認知症の方やご家族、地域の方など、どなたでも参加できる場所になっていると思えます。

小松 認知症の方を支える社会的基盤としては、施設系サービスのほか、在宅系サービスとして訪問介護や訪問看護、デイサービス、ショートステイなどがありますが、認知症カフェは認知症の方やそのご家族、地域住民、介護職員など誰もが集える場所です。オレンジカフェなどの別称で呼ばれることもあります。気軽に悩みの相談や世間話ができる、コミュニケーションの場として利用していただきたいものです。時には互いに弱音を吐いたりすることも大事ですし、同じ経験者から対応の仕方などノウハウを聞くこともでき



ます。早めに支援者や仲間を持つようにした方がいいと思います。

認知症予防に大切なこと

市長 いろいろとお話を伺ってききましたけれど、最後に、認知症を予防する方法はあるのでしょうか。

小松 残念ながら特別な予防法はありません。しかし、適度な運動やバランスの良い食事、生活習慣病の予防と治療、それから生きがいを持って単調な生活を避け、家族や隣人、社会との人間関係を普段から円滑にしておくことが、認知症の予防には重要だと考えられています。

市長 分かりました。認知症の方が住みやすい街をつくっていくということは、きっと認知症以外の方も含め、他の人もとても住みやすい街になっていくと思います。寒河江市でも、9月を認知症普及啓発月間「さがえ市オレンジ月間」として取り組んでいます。PR車を走らせたり、慈恩寺をオレンジ色にライトアップしたりして、認知症の啓発を、一層進めていきたいと考えているところです。

先生、本日はどうもありがとうございました。小松 ありがとうございます。

認知症

さがえ市オレンジ月間

認知症は人生の一部

認知症は、特別な病気ではありません。私たち全員に、認知症になる可能性があります。自身や家族、大切な人がなるかもしれない身近なもので、人生の一部です。認知症の人が安心して暮らすためには、周囲の関わり方が重要です。場合によっては、症状の悪化

を招いてしまうことになりかねません。認知症を知り、接し方や配慮の仕方を学ぶことが大切です。人生を自分らしく生きるために、自分らしく生きてもらうために、認知症について考えてみませんか。

症状のさまざまな認知症

認知症とは、さまざまな要因で脳細胞に問題が生じ、6カ月以上

生活に支障をきたしている状態をいいます。脳細胞に問題を生じた原因によって病名が決まり、症状や進行の仕方もそれぞれ異なります。原因を特定し、適切な治療や対処をすることで、症状の改善や重症化の予防、家族の負担軽減が期待できます。地域包括支援センターやかかりつけ医など、身近な専門機関に早めに相談することが重要です。

認知症を知ろう

認知症に関する啓発は、世界的に行われています。国際アルツハイマー病協会（ADI）と世界保健機関（WHO）は共同で、毎年9月を「世界アルツハイマー月間」、9月21日を「世界アルツハイマーデー」として定めています。

本市でも、広く市民の皆さんに認知症についての理解を深めてもらうため啓発活動を行っており、本年から9月を「さがえ市オレンジ月間」として取り組みます。

市高齢者支援課では、認知症の進行にあわせて利用できる相談先や制度、サービス等をまとめた冊子「認知症ケアパス」を配布しています。予防や備えの段階から記載されていますので、認知症を知る一冊としてもお読みください。

●問合せ/市高齢者支援課介護予防推進係 ☎(05)0875へ。

三大認知症

認知症で、一番多いのはアルツハイマー型認知症です。脳血管性認知症、レビー小体型認知症と続き、三大認知症といわれます。この他にも、多量の飲酒による「アルコール性認知症」など、認知症になる原因はさまざまです。

アルツハイマー型認知症

加齢などで代謝機能が弱まって、アミロイドベータというタンパク質を分解できなくなり、脳に過剰に溜まることで発症するとされています。記憶障害や理解力・判断力の低下などが見られます。

脳血管性認知症

脳の血管が詰まる・出血するなどにより、認知や記憶をつかさどる部分が障害されることで発症します。意欲や自発性の低下が見られる他、突然怒り出したりすぐに泣いてしまったりするなど、感情を制御するのが難しくなることが多いようです。

レビー小体型認知症

特殊なタンパク質・レビー小体が脳に蓄積されることで発症します。実際にはいない人や動物が見えてしまう幻視が代表的な症状とされています。一日の中で症状の変動が大きいことも特徴で、よい状態のときには周囲から認知症であると分からない場合があります。



ワンポイント
ロバ隊長

ロバ隊長は、認知症サポーターの養成を通して、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを行うという日本の国家的取り組み「認知症サポーターキャラバン」の Mascot キャラクターです。ロバのように、急がず、一步一步着実に、取り組みを進めます。



**できる範囲で見守り・支援
認知症サポーター**

認知症サポーターとは、認知症について正しい知識を持ち、認知症の方や家族を温かく見守り支援する応援者です。何か特別なことをするのではなく、認知症の方の気持ちをくんだり、優しく声を掛けたりと、自分のできる範囲で、手助けします。

認知症サポーター養成講座

認知症の症状や認知症の方への対応心得などといった基礎知識、地域や家庭で身近にできることなどを学びます。受講された方には、認知症サポーターの証しであるオレンジリングを差し上げます。

- 対象／市内に在住・在勤・在学している方、おおむね10人以上のグループ
- 開催方法／市内を会場とする、講師派遣による出前講座。午前9時～午後9時の間で、1時間～1時間半程度の講座を実施します。会場の手配等は申込者が準備ください。
- 申込方法／申込書に記入の上、開催希望日の1カ月前まで、市高齢者支援課に提出。申込書は市高齢者支援課で交付する他、市ホームページからダウンロードもできます。

「認知症に優しいお店」登録店

認知症の症状がある方やご家族に優しい対応を心掛けている市内のお店や事業所です。登録店舗は令和4年8月時点で106店舗。詳細は、市ホームページをご覧ください。登録店は随時募集いたしますので、ご協力をお願いします。

- 登録要件／認知症サポーター養成講座を受講した者が1人以上

いる店舗・事業所

市高齢者支援課に記入の上、申請方法／申請書に記入の上、市高齢者支援課に提出。申請書は市高齢者支援課で交付する他、市ホームページからダウンロードもできます。

- その他／登録店には専用のステッカーを交付します。

**認知症等の方の安全と、ご家族への支援
「無事かえる」事業にご協力ください**

「無事かえる」情報の登録

ご家族が認知症等で道に迷う心配がある場合、ご本人の氏名や生年月日、緊急連絡先等の「無事かえる」情報を市に登録ください。登録情報に基づき、名札等の「見守りグッズ」を作成します。見守りグッズは、ご自宅等を訪問しての聞き取りの際にお渡ししますので、詳細は市ホームページをご覧ください。

- 申請方法／申請書に記入の上、市高齢者支援課に提出。申請書は市高齢者支援課で交付する他、市ホームページからダウンロードもできます。
- 登録情報の共有／登録情報は寒河江警察署と共有し、行方不明者の搜索等に活用します。

さがえ無事かえる協力ネットワーク

認知症等で道に迷った方が無事に帰れるよう、県警察本部の電子メールによる情報提供サービス「やまがた110ネットワーク」と連動した協力体制を築いています。登録の上、行方不明者の早期発見にご協力ください。登録の際は、情報種別・行方不明者手配情報、地域種別・寒河江警察署を選択ください。詳細は、県警察本部ホームページをご覧ください。

「どさ、いぐなやっす」の声掛け

季節や気温に合わない服装で歩いているなど、なんだか気になる方がいたら、声を掛けましょう。認知症の方は、あえて何事もない受け答えをする場合があります。声を掛けながら様子を見ましょう。

- 声掛けのコツ／①相手の視界に入ってから声掛けし、驚かせない。②ゆっくり一つずつ質問し、急がせない。③自尊心を傷つけない。

市認知症初期集中支援チーム

医療・介護・福祉の専門職チームが、初期支援を包括的・集中的にサポート

医療・介護・福祉の専門職で構成されたチームが、認知症が疑われる方や認知症の方、そのご家族からのご相談をお受けします。ご自宅を訪問して心配なこと等をお伺いし、必要な医療や介護サービスの導入・調整、家族によるサポートといった初期対応への支援を包括的・集中的に行い、在宅で穏やかに過ごせるよう支援します。

- まずは、相談窓口としての市地域包括支援センターにご相談ください。
- 対象／市内に在宅で生活している40歳以上の認知症または認知症が疑われる方について、①医療・介護サービスを受けていないまたは中断している本人とその家族、②医療・介護サービスを受けているが認知症の行動や心理状態が顕著で対応に苦慮しているご家族。
 - 問合せ／市地域包括支援センター ☎85-0896へ。

「おや?」と思ったら、早めにご相談ください

認知症は、誰もがかかる可能性があり記憶や判断力など、脳の機能が低下する病気です。本人が症状を自覚することが難しいため、周りの人の気付きが大切です。認知症は早期発見・早期受診・早期対応を行うことで、その後の症状の進行を遅らせたり、回復できたり、介護の負担を軽くしたりすることにつながります。心配になるような物忘れや、おや?と思うような行動など、身近な人に以前と違う様子が見られたら、早めにご相談ください。



市認知症初期集中支援チーム
社会福祉法人敬寿会の皆さん

住み慣れた場所で暮らせるよう支援します

私たち地域包括支援センターは、市認知症初期集中支援チームと連携しながら、認知症の人がその人らしく生活できるよう支援します。認知症の人とその家族が、できる限り住み慣れた場所・地域で暮らし続けることができるよう心掛けながら、生活環境を整え、適切な医療や福祉サービスにつなげていきます。

まずは、ご自身やご家族だけで悩まず、ハートフルセンター3階の、地域包括支援センターにご相談ください。



市地域包括支援センター
社会福祉士・阿部さん

利用の流れ

- ①受付
市地域包括支援センターにご連絡ください。受け付けの際に、聞き取りを行います。
- ②訪問（聞き取り）
認知症初期集中支援チーム員が、ご自宅を訪問し、詳しく聞き取りを行います。
- ③検討会議
医師などの専門職チーム員と情報を共有し、より良い生活に向けて必要なサポートを、さまざまな角度から検討します。
- ④訪問（支援）
6カ月を目安に、チーム員が必要な頻度で訪問します。次のような支援を行い、適切な医療・介護サービスにつなげます。
▶ 必要な医療・介護サービスを一緒に検討
▶ 必要に応じて専門医療機関への受診を促す
▶ 認知症の症状に沿った対応、ご家族の関わり方、今後の見通し等をアドバイス
- ⑤引き継ぎ
6カ月の訪問期間で医療・介護サービスにつながらなかった場合でも、地域包括支援センターに引き継ぎ、継続して必要な医療・介護サービスを検討します。

認知症の情報交換会
オレンジカフェ

認知症の方が安心して楽しみ、ご家族も気軽に相談や情報交換ができる集いの場です。認知症サポーターや医療職、介護職の方、認知症の人の助けになりたい方など、どなたでも自由においでください。

オレンジカフェまごころ

木のおもちゃや子ども向けの本なども準備しています。月に1回は、テーマを決めて情報交換会を行います。

- 日時/毎週火曜日の午前10時～午後4時
- 会場/フローラ・SAGAE 5階
- 問合せ/まごころサービスさくらんぼ ☎84-4315へ。



オレンジカフェだいで

個別相談と、認知症ミニ講座の2部構成で開催しています。専門職による学習型のオレンジカフェです。

- 日時/毎月第2木曜日【個別相談】午前11時～正午、【認知症ミニ講話】午後1時30分～3時
- 会場/特別養護老人ホーム醍醐
- 問合せ/特別養護老人ホーム醍醐 ☎84-0309へ。



オレンジカフェとこしえ

情報交換会と併せて、多肉植物の寄せ植えや折り紙、作品作りなどさまざまな体験会を行っています。

- 日時/毎月22日の午後1時30分～3時30分
- 会場/皿沼公民館
- 問合せ/ケアセンターとこしえ島 ☎84-7190へ。



慈恩寺をオレンジ色にライトアップ

本山慈恩寺境内の全ての堂舎を、オレンジ色にライトアップします。認知症のシンボルカラーであるオレンジ色には「手助けをします」という意味が込められています。

- 日時/9月10日(土)・17日(土)・24日(土)の午後6時30分頃～9時
- 問合せ/市さくらんぼ観光課観光振興係 ☎85-1682へ。

ドキュメンタリー映画上映
ぼけますから、よろしくお願ひします。
～おかえり お母さん～

認知症の母と耳の遠い父。二人の生活を描いた2018年公開のドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくお願ひします。～おかえり お母さん～」その後を撮影した続編を上映します。映画を通して、認知症と共に生きることに考えてみませんか。1作目を見ていない方も、ぜひご覧ください。

- 日時/9月25日(日)①午前10時～11時45分、②午後1時30分～3時15分
- 会場/ハートフルセンター
- 定員/各50人
- 申込/市高齢者支援課介護予防推進係 ☎85-0875へ。



高齢者の総合相談窓口
市地域包括支援センター

認知症に関するものも含め、高齢の方の保健、福祉、介護など、お気軽にご相談ください。主任介護支援専門員、社会福祉士、看護師など専門知識を持ったスタッフが対応します。

- 場所/ハートフルセンター
- 問合せ/市地域包括支援センター ☎(85)0896へ。

さがえ市オレンジ月間の取り組み

広く市民の皆さんに認知症についての理解を深めてもらうため、9月を期間とする「さがえ市オレンジ月間」では、普段の取り組みに加え、さまざまな事業を実施します。自分のために、大切な人のために、認知症と一緒に知り、考えてみませんか。



「さがえ市オレンジ月間」マグネット車両が市内を走行

介護施設および介護事業所の送迎車の他、郵便局、寒河江タクシー、中央タクシーの各社車両が、認知症啓発用マグネットを車体に掲示し、市内を走行しています。

- 期間/9月30日(金)まで



市立図書館の特設コーナーで認知症を紹介

市立図書館で、認知症に関する最新の情報と正しい理解を伝える書籍、市内在住の若年性認知症者の手記などを展示しています。展示している本も借りられますので、認知症への理解を深める最初の一步として、ご来館の際は、ぜひ一度ご覧ください。

若年性認知症者の手記を冊子にして展示します

展示する若年性認知症者の手記は、本市在住のA氏によるものです。教職に就いていたA氏は、51歳の時にアルツハイマー病と診断されました。氏の手記をまとめ、冊子として展示しますので、ぜひ一読ください。ここでは、手記の一部を紹介します。

「図らずも、病気になってしまったけれども、それでも、私にはできることがまだまだたくさんあると思うのです。希望をもって、前に進んでいきたい」

「病気になってしまい、残念で、絶望的な思いを抱いていた時期もありましたが、今は気持ちが前向きになっています。それはきっと、自分は一人じゃないと、感じているからだと思います」

- 日時/9月30日(金)までの午前9時30分～午後7時30分(日曜、祝日は午後5時まで)
- 会場/市立図書館
- 問合せ/市立図書館 ☎86-1662へ。



若年性認知症

65歳未満で認知症と診断された場合、若年性認知症とされます。働き盛りの世代で発症するため、ご本人だけでなく、ご家族の生活への影響が大きくなりやすい特徴があります。

若年性認知症の相談窓口・さくらんぼカフェ

- 日時/月～金曜日の正午～午後4時
- 場所/県小白川庁舎(山形市)
- 相談方法/来所しての直接相談または電話相談 [☎023-687-0387]
- 問合せ/県健康福祉部高齢者支援課 ☎023-630-3321へ。

若年性認知症の電話無料相談

- 日時/月～土曜日の午前10時～午後3時
- 相談/若年性認知症コールセンター ☎0800-100-2707へ。



令和5年度認可保育施設の利用申込は10月3日から



令和5年度の認可保育施設の利用申し込みを、10月3日(月)から受け付けます。申込書等は9月23日(金)からハートフルセンター受付に設置する他、市ホームページからダウンロードもできます。

利用できる対象児童

市内に住所があり「保育の必要性」の認定(支給認定)を受けた世帯の児童が対象となります。認可保育施設の利用については、家庭の状況等を勘案し決定します。

利用申し込み方法

提出書類をお持ちになり、期間内に申し込んでください。書類等に不備がある場合は受け付けできません。

受付期間

10月3日(月)～31日(月)(21日(金)および土・日曜日、祝日を除く)の午前9時～午後4時。期間を過ぎても申し込みはできますが、施設の利用については期間内に受け付けられた方が優先されます。

申込先

子育て推進課子ども支援係(ハートフルセンター1階)

提出書類

保護者(父母それぞれ)が次の①～⑥のいずれに該当するかで、対応する書類を、申込書に添えて提出してください。①②④⑤は市の様式で提出してください。世帯状況によっては、他に書類が必要になる場合があります。

- ① 家庭外労働/就労証明書
- ② 家庭内労働/内職・自営の状況を記載した就労申告書
- ③ 病氣・産前産後/医師の診断書、または状態が分かるもの(母子健康手帳の写し等)
- ④ 病人等を看護している/看護申告書、および医師の診断書が身体障害者手帳の写し等
- ⑤ 求職活動中/活動実績が記載された求職活動実施申告書、およびハローワークカードの写し等
- ⑥ 就学中、または職業訓練中/在籍証明書等

受付時の聞き取り

申し込みには、必ず保護者がお越しください。不明な点が多いな

利用者負担額

利用料は、児童の年齢や支給認定内容、保護者(父母)の所得に応じた税額、世帯状況等により決定されます。年齢や施設、利用状況により、保護者会費や通園送迎費等が必要になる場合があります。

利用者負担軽減

- 国の制度により3歳児～5歳児クラスの利用料は無償です。多子世帯の場合、0歳児～2歳児クラスについても市が独自に、利用料の負担軽減事業を行っています。
- 第2子軽減/利用児童が世帯の第2子の場合は半額。第1子と同時入所している場合は無償
- 第3子以降軽減/利用児童が世帯の第3子以降の場合は無償

● 問合せ/子育て推進課子ども支援係 ☎(85)0907へ。

認可保育施設の概要

区分	保育施設名	所在地	電話番号	保育実施年齢	通園バス
市立保育所	なか保育所	八幡町1-10	84-2537	0～5歳 (生後2カ月以上)	無
	なか保育所みいずみ分園	字中河原191-1	86-8232	3～5歳	有
	にしね保育所	大字西根169	86-7466	1～5歳	有
	しらいわ保育所	大字白岩1296-2	87-1138	1～5歳	有
	たかまつ保育所	大字米沢643-2	87-2860	0～5歳 (生後2カ月以上)	有
民間立保育所	ゆりかご子ども園	緑町200-67	84-5212	0～2歳 (生後2カ月以上)	無
	しばはしさくらんぼ子供園	大字柴橋字下鎌3378-2	85-7178	0～2歳 (生後2カ月以上)	無
	さがえさくらんぼ子供園	大字日田字五反201-1	86-6101	0～5歳 (生後2カ月以上)	無
	あおぞら保育園	大字寒河江丙1230-1	86-9258	0～2歳 (生後4カ月以上)	無
認定こども園	寒河江第二幼稚園	大字高屋字西浦19	86-6209	0～5歳 (生後2カ月以上)	有
	南部ひまわりこども園	大字島字島東181	86-3221	0～5歳 (生後2カ月以上)	無
	柴橋おひさまこども園	大江町大字左沢字金谷1995-1	86-9198	1～5歳	有
小規模保育施設	第2さくらんぼ子供園	東新山町252-1	85-0832	0～2歳 (生後2カ月以上)	無
事業所内保育施設	寒河江やすらぎの里保育園	本楯2-24-1	83-0586	0～2歳 (生後3カ月以上)	無

- 開所日時/月～土曜日(祝日および12月29日～翌年1月3日を除く)の午前7時～午後7時
- 保育実施年齢の考え方/施設利用年度の4月1日時点年齢。ただし0歳児は施設利用開始時点の月数
- 通園バスの運行範囲/通園バスの送迎は、施設所在地の地区内に限ります。
- その他/市立なか保育所は、送迎などの場合に車の出入りは左折のみとなります。

保育施設を見学しませんか

各保育施設が施設を公開します。見学をご希望の方は、事前に施設にご連絡ください。この他に園庭開放も行いますので、詳細は市ホームページをご覧ください。

- 期日/[9月14日(水)・10月13日(木)] 柴橋おひさまこども園、[10月14日(金)] 市立保育所
- 時間/午前9時40分～11時
- その他/この他の施設も見学を受け付けていますので、各施設に直接お問い合わせください。



さがえコラム

SAGAE COLUMN

食から始める健康レシピ②



昼食選びで 午後の活動力アップ

昼食の選び方や食べ方は、午後の仕事に大きく影響します。昼食がコンビニ食などの場合は、栄養の面から、おかずの種類が多いお弁当がお勧めです。昼は1日の中で最も代謝がよく、栄養素が体内で有効利用される時間帯であり、食材が豊富な食事を取ることによって活動力アップにつながります。

午後の眠気が気になるからと、昼食に炭水化物を避ける人もいますが、それはお勧めできません。昼食で炭水化物が不足すると、午後の集中力が低下し、疲労を招く一因にもなります。午後の眠気の原因の一つは朝食の量が少ないことです。昼食前に低血糖状態になっているため昼食後に血糖値が急上昇し、それが急降下するときに眠気を感じます。まずは朝食をしっかり取るようにしましょう。

不規則な食事は活動が低下する要因になります。特に在宅勤務の方は昼食の時間がずれたり、食事がおろそかになったりする傾向にあります。仕事を頑張りたい人こそ、仕事の途中でも一休みし、ゆっくり食べる時間を確保して気持ちを切り換えるようにしましょう。

●問合せ／市健康福祉課市民健康係 ☎85-0973へ。

くらしの中のチョットした話

通信販売での購入は、 契約内容を確認しましょう



「お試し」だけを購入したつもりが「定期購入」になっていたという相談が、近年、市に多く寄せられています。通信販売には、クーリング・オフ制度はありません。返品については、事業者が定めたルールに従うことになります。注文する前に、契約内容や解約・返品条件等をよく確認しましょう。広告や最終確認画面を保存しておくことをお勧めします。

困ったときは一人で悩まず、市消費生活センターにお早めに相談ください。ここでは、よくある事例を二つ紹介します。

相談が多い事例①

テレビショッピングで、お試しのつもりで育毛剤を購入。その後、注文していないのに同じ商品が送られてきた。実は定期購入になっていて、4回目の商品を受け取るまで解約できないことになっていた。

相談が多い事例②

インターネット通販で、サプリメントを注文したが効き目が感じられなかった。解約しようとしたが、すぐには解約できない契約内容になっており、2個目が送られてきてしまった。

●問合せ／市消費生活センター ☎85-1876へ。

8月3日からの線状降水帯による大雨

8月3日からの大雨による被害に対し、心よりお見舞い申し上げます。



(平塩地内)

8月3日・4日の2日間、日本海北部から南東進する低気圧とそれに伴う前線の影響で、東北地方から北陸地方で複数の線状降水帯が発生し、置賜地域や新潟県の下越地域で降雨が集中しました。

本市においても、置賜地域の集中豪雨により最上川の水位が上昇し、氾濫の危険があることから、南部地区に避難指示を発令しました。

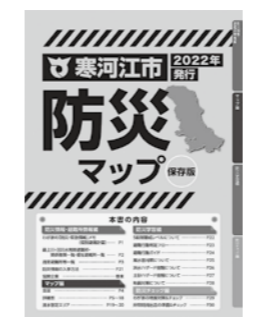
被害状況

- 人的被害／なし
- 建物被害／2棟（[住家] 床下浸水1棟、[非住家] 床下浸水1棟）
- 市施設被害／グリバーさがえ
- 農業被害／冠水被害（[水稻] 817アール、[果樹] 79アール、[野菜等] 600アール）、農業施設被害（平塩地区）

避難状況

- 避難経緯／
8月4日(木)
4：30 南部地区に警戒レベル4 避難指示を発令、南部小学校に指定避難所を開設
- 15：30 南部地区の警戒レベル4 避難指示を解除、南部小学校の指定避難所を閉鎖
- 避難者数／40人

いざというときのために、普段から災害に備えましょう



災害は、忘れた頃にやって来るという言葉があります。災害には、震災や火災、風水害、雪害などさまざまな災害があり、被害を完全になくすことはできません。大切なのは、災害に備え被害を減らし、人の命を守ることです。

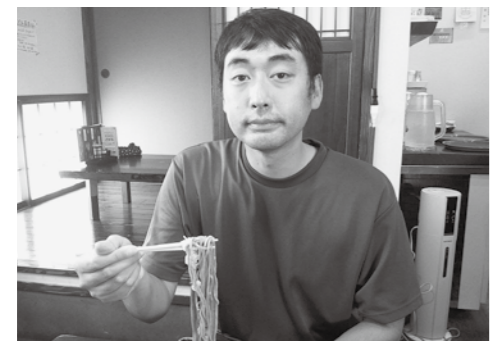
災害に備えて、防災マップを確認しましょう。市内の浸水想定区域や土砂災害警戒区域、さまざまな防災に対する知識と備えを分かりやすくまとめています。4月に全戸に配布したほか、転入してきた方には転入手続きの際にお渡ししています。市ホームページからダウンロードもできます。住んでいる地域が安全か、防災マップで確認しておきましょう。

●問合せ／市防災危機管理課防災危機管理係 ☎85-1402へ。

地域おこし 協力隊が さがえの魅力 を再発見

エンジョイ 縁JOY通信

4月から地域おこし協力隊として農林課に着任した福田です。寒河江市の農家をほぼ日替わりで手伝いながら、農業についていろいろなことを勉強中です。寒河江に来てしばらくはサクランボの作業に従事していました。それらがひと段落して、今は桃や野菜の手伝い作業が中心になっています。



寒河江に来てから鶏肉の肉そばを知り、はまっていて、市内のいろいろなお店で肉そばを食べるのが楽しみになっています。関東のそばと比べて味が濃く、特に鶏肉が肉厚で、最初に見たときはチャーシューが入っているのかと勘違いするほどでした。風味が強い寒河江の冷たい肉そばは、今年のような暑い夏には特においしく感じます。

福田 周平（神奈川県出身・35歳）
農林課所属の地域おこし協力隊。以前は神奈川県で営業の仕事をしていました。趣味はゲームです。



ロボットコンテストWPO山形予選会



7月23日、寒河江工業高等学校の生徒たちが、製作したロボットのプログラム技術を競いました。

明るいやまがた夏の安全県民運動



7月27日、陵西中学校で、明るいやまがた夏の安全県民運動の事故・非行防止等啓発活動が行われました。

総合子どもセンターなつまつり



7月23日、ゆめはーと寒河江で総合子どもセンターなつまつりが開催され、子どもたちはお菓子釣りや輪投げなどを楽しみました。

モックカー教室



7月28日、寒河江中部小学校で、東部地区の子どもたちが木製の模型車を制作して速さを競いました。

次世代子育てステーション整備工事安全祈願



7月28日、チェリーランドで整備工事の安全祈願祭が行われ、完成までの無事を祈りました。

グリバーさがえ夏祭り



7月31日、グリバーさがえで、訪れた親子らがバナナボートやカヌーなどを体験しました。

プログラミング教室



8月4日、寒河江工業高等学校で、小学生を対象としたプログラミング教室が開催されました。

観光ブルーベリー園開園式



7月14日、観光ブルーベリー園が開園し、来園者は爽やかな甘みを味わいました。

谷沢梅で梅干し作り



7月15日、高松小学校4年生が、地域の方に教わりながら、校内で収穫した谷沢梅で梅干し作りを行いました。

Sagae Library さがえライブラリー

今月の1冊

沈黙のパレード

東野圭吾・作 文藝春秋・発行

小説が映画化されたとき、あなたは原作を先に読みますか？ それとも映画を先にみますか？ 東野圭吾の推理小説「ガリレオシリーズ」第9弾の本書が映画化され、今月公開されます。犯人が分かって映画を見てもつまらないと考えるか、原作をどのように映像化したかを楽しむかは、あなた次第。登場人物全員に動機があり、同時に犯行不可能な理由がある。多様な人間模様と沈黙の先に、ガリレオと称される天才物理学者・湯川教授が見いだした真実とは…。



図書館へ行こう！

おはなし室

いっちゃん会 9/17(土)午後2時～2時30分
ムーミンママクラブ 9/25(日)午前11時～11時40分
図書館ボランティアチェリー 毎週火曜日の午前10時～11時30分

展示ホール

共立社寒河江生協・原爆パネル展 9/11(日)まで
天折(ようせつ)した郷土の詩人 日塔貞子展 9/13(火)から

ブックテーマコーナー

今、備える～防災の日～ 9/25(日)まで
日本の妖怪・世界の妖怪 9/27(火)から

9月の休館日 12日(月)・26日(月)

寒河江市美術館 アートに*ふれよう 慈恩寺を描いてみませんか

12月に慈恩寺絵画コンクール作品展を開催します。高校生以上の一般の部、中学生以下の子どもの部の2部門で募集し、市美術館では、応募された全ての作品を展示します。昨年は、慈恩寺テラスがオープンしたこともあってか、合計221点の作品が集まりました。

今回も魅力あふれる作品をお待ちしています。応募方法など詳細は、市ホームページをご覧ください。

- 応募期限/9月30日(金)
- 問合せ/慈恩寺絵画コンクール事務局(西部地区公民館内) ☎87-1302へ。



埋蔵文化財フェア
寒河江城をテーマに、大江氏・最上氏時代の郷土の姿を学ぶ展示会です。
寒河江城の発掘調査で出土した資料や、同じ時期に存在していた県内の城の発掘調査で出土した資料を展示します。大江氏関係資料も併せて展示しますので、ぜひお越しください。
■日時/9月21日(水)～10月4日(火)の午前10時～午後7時(9月28日(水)は休館日)

寒河江城の時代

■会場/市美術館
講演「中世城館の世界」
山形城郭研究会会長・山口博之氏による講演を行います。
■日時/9月25日(日)午後1時30分
■会場/市立図書館
■問合せ/市生涯学習課歴史文化係 ☎(86)82331へ。

同時開催
「鎌倉殿の13人」全国巡回展
大江公ゆかりの地特別展
①大河ドラマ「鎌倉殿の13人」全国巡回展
番組紹介パネルやドラマの撮影で使用した衣装、番組の場面写真、出演者のサイン色紙の展示やVR(仮想現実)コーナー等、番組の魅力をたっぷりと感じられる展示会です。県内では本市のみの開催です。
②大江公ゆかりの地特別展
ドラマにも登場している、寒河江を治めた大江広元やその子孫が残した、市内に点在する足跡を紹介します。
●日時/9月20日(火)～26日(月)



巡回展の様子

の午前9時～午後6時(最終日は午後1時まで)
●会場/最上川ふるさと総合公園
■問合せ/①はNHK山形放送局 ☎023(625)9510、②は市生涯学習課歴史文化係 ☎(86)82331へ。

郷土館特別展

寒河江を治めた大江氏

約400年にわたり寒河江を治めた大江氏について、関連する写真・パネルや古文書などを展示します。
併せて昭和63年に行われた「大江公入部八百年祭」の資料など、大江氏滅亡後の寒河江との関わりについても紹介します。期間中の入館料は無料です。
■日時/9月16日(金)～10月10日(月)の午前10時～午後4時
特別開催「寒河江城址をめぐる」
寒河江城址(し)を歩いて巡り、いにしへの痕跡をたどります。
■日時/10月7日(金)午前10時～午後1時



■定員/20人(応募多数の場合抽選)
■申込方法/9月26日(月)までの月々金曜日(祝日を除く)、午前8時30分～午後5時15分に、文化センター窓口へ直接または電話でお申し込みください。
●会場/市郷土館
■問合せ/市生涯学習課歴史文化係 ☎(86)82331へ。

ぜひご参加ください！ 大江公スタンプラリー

大江公ゆかりの地特別展、埋蔵文化財フェア、郷土館特別展の3会場を巡るスタンプラリーを開催します。専用の用紙に、3会場全てのスタンプを押してご応募ください。専用紙は各会場の他、文化センターや慈恩寺テラス等に設置しています。応募された方の中から、抽選で、寒河江温泉ペア宿泊券等の豪華賞品をお送りします。

- 応募期限/10月10日(月)
- 応募先/慈恩寺テラス
- その他/イベントごとに開催期間が異なりますのでご注意ください。
- 問合せ/市生涯学習課歴史文化係 ☎86-8231へ。

県内初認定 文化財保存活用地域計画

本市では、文化財を将来にわたり適正に保存・活用し歴史文化振興に資するため、文化財保存活用地域計画を作成し、7月22日に文化庁から県内初の認定を受けました。
この計画に基づき、未指定文化財の調査や、適切な保存環境での文化財の公開を進め観光客の誘客を図るなど、市の特色ある豊かな文化財の保存・活用に関する事業に取り組みます。

- 計画の詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。
- 問合せ/市生涯学習課歴史文化係 ☎(86)82331へ。

市史編さん だより

宝の西に祀(まつ)る長八稲荷

下河原宝線を東へ、寒河江バイパスを横断すると道端に稲荷堂(大字西根字内川)が建っている。この場所になぜ稲荷堂があるのか不思議であった。
この稲荷堂を祀っている下河原の芳賀長一さんに話を聞くことができた。長一さんは芳賀家9代目、代々長左衛門と名乗っていたという。
「昔のことはよく分からないが、宝の人は長八お堂と呼ん

でいたようです。この内川辺りは度々洪水に見舞われ土地は泥海(どろうみ)化し苦勞したのでしよう。私の小さい頃は、この稲荷堂のすぐ側を内川が流れていました。水よけと五穀豊稔を願う稲荷を勧請(かんじょう)したのではないかと考えています。稲荷堂の周囲はもっと広がったのです。耕地整理で周囲は削られ、昭和21年の寒河江川堤防決壊の時に杉の木は供出、南側は道路拡張によって、今はこんなに狭くなったのです。」

そして貴重な資料を見せてくださった。「稲荷社安鎮之証書 正一位稲荷大明神：撰津守従五位宿禰荷田信純印 文化十年十二月 羽州最上寒河江芳賀長左衛門殿」
この証書は文化10(1813)年、芳賀長左衛門に宛てたもので京都伏見稲荷より勸請したことが読み取れた。

下河原は寒河江川南端に位置し、内川が集落のすぐそばを流れていた頃、河原の開墾と漁労を目指す人々がここに

定住したという。享和3(1803)年には33戸、長左衛門の名前も記されている。
内川は、「新田村差出帳」に川幅7間余り(およそ13メートル)とある。水量も豊富であった。寛政7(1795)年、下河原を襲った洪水のすさまじさが記録に残っている。長左衛門は度々起こる洪水の被害を村人と共に克服し、さらに信仰によって洪水を防ごうとしたのであろう。
200余年間も祀り続けてきた芳賀家、下河原・宝の安寧を見守り続けた稲荷大明神。その地に生きた人々と出会えたように思えた。



長八稲荷

お知らせ

新型コロナウイルスの影響により、掲載の催しなどが中止・変更になる場合があります。

市上水道を使用しない世帯に給付金を支給します

原油価格や物価高騰により影響を受けている市民生活を支援するため、給付金を支給します。詳細については、市ホームページをご覧ください。
●対象／市内に居住する市民で、飲用水として井戸水や山水のみを使用する、生計を一にする世帯
●支給額／1世帯当たり3千円
●申込方法／令和5年2月28日(火)まで申請書に記入の上、市市民生活課へ提出
●問合せ／市市民生活課生活安全係 ☎(05)1876へ。

市消防団ビジョン(案)への意見を公募

市消防団ビジョン(案)への、市民の皆さんの意見を募集します。
●意見の提出方法／所定の用紙に記入の上、9月22日(木)午後5時まで市防

道の駅寒河江 ハンドメイドマルシェ

●日時／9月18日(日)午前10時30分～午後4時
●会場／チェリーランド河川敷公園
●問合せ／さくらんぼ会館 ☎(86)1818へ。

市老人福祉センター 催し物案内

社会福祉協議会長杯グラウンドゴルフ大会
●日時／9月21日(水)午前8時15分～正午
●会場／チェリーランド河川敷公園(雨天時・市老人福祉センター)

●参加費／300円(賞品付き)
●市の歴史・史跡講座(鎌倉殿の13大江公編)
大江氏の足跡をたどります。
●日時／9月28日(水)午前10時～正午
●定員／20人
●参加費／150円
●その他／マイクロバスでの送迎あり
●申込／市老人福祉センター ☎(87)1328へ。

フリーマーケットinフローラ

●日時／9月10日(土)午前10時～午後2時30分
●会場／フローラ・SAGAE1階
●内容／雑貨、骨とう品等の展示即売会

災害危機管理課へ郵送(〒991-88寒河江市中央1丁目9番45号)、電子メール kiki.kanri@city.sagae.yamagata.jp、ファックス(06)7220、電子申請、持参のいずれか。
●閲覧場所／市役所2階、ハートフルセンター、フローラ・SAGAE、文化センター、市立図書館、この木交流センター、南部・西部地区公民館。市ホームページでも公開。
●問合せ／市防災危機管理課防災危機管理係 ☎(85)1402へ。

マイナンバーカードの 出張申請所を開設

マイナンバーカードの申請書作成等を支援する出張申請所を開設します。詳細は、県マイナンバーカード出張申請所特設サイトをご覧ください。
●日時／9月10日(土)・11日(日)・17日(土)・18日(日)の午前10時～午後6時
●会場／イオンモール天童(天童市)
●対象／村山地域にお住まいの方
●問合せ／市市民生活課市民係 ☎(85)1854へ。

県外学生へ ふるさと山形からの応援便

県内出身で、親元を離れて県外に居住する学生に対し、県産米「はえぬぎ」10キログラムを支給します。詳細については、お問い合わせください。
●対象／県内の中学校または高校を卒

●問合せ／フリーマーケット事務局・半澤さん ☎85(1499)へ。

さんで〜すて〜じ・さがえ インフローラ 第302回公演

なつメロ、男声合唱のステージ
●日時／9月11日(日)午後2時～3時20分
●出演／寒河江なつメロ愛好会、男声コーラス隊チェリー
●会場／フローラ・SAGAE地下
●定員／60人
●問合せ／実施フォーラム事務局長・五十嵐さん ☎090(7068)3990へ。

地域福祉の拠点づくり ふれあいコンサート

山形交響楽団トロンボーン奏者の篠崎唯さんが演奏。トロンボーン幅広い音色をお楽しみください。料金の一部は、福祉施設等に寄付されます。
●日時／9月23日(金)午後3時～
●会場／ギャラリー&カフェあるある
●料金／2500円
●申込／音楽をつなぐプロジェクトin寒河江・中村さん ☎090(3129)9592へ。

ゆめはーと寒河江 イベント情報

ファミサポ活用術
ファミリー・サポート・センターの

業し、県外に居住する大学・大学院・短期大学・専門学校等に在籍の方で、申請時点で保護者が県内に居住する方
●申請方法／11月30日(水)まで、やまがたe申請から申し込み。
●問合せ／県みらい企画創造部くらすべ山形魅力発信課 ☎023(630)2680へ。

あなたの婚活をサポート 市結婚相談会

結婚を希望する方への相談会です。市の婚活コーディネーターが親身になってご相談をお受けしますので、気軽にお申し込みください。
●日時／9月26日(月)午後7時～9時
●会場／ハートフルセンター
●定員／結婚を希望する独身の方またはそのご家族、8人(相談は1人30分)
●申込／9月21日(水)まで市企画創成課政策調整係 ☎(85)1413へ。

介護予防講座 さわやかコグニサイズ体操

認知症予防のため、頭と体の体操を体験します。
●日時／9月26日(月)午後1時30分～3時
●会場／ハートフルセンター
●定員／65歳以上の市民30人
●持ち物／マスク、飲み物、タオル
●申込／9月9日(金)から市高齢者支援課介護予防推進係 ☎(85)0875へ。

使用方を説明します。

●日時／9月22日(木)午前10時～11時30分
●赤ちゃんマツサージ

●日時／9月27日(火)午前10時30分～11時30分
●定員／生後6カ月までの赤ちゃんとお母さん、6組程度
●会場／ハートフルセンター
●申込／ゆめはーと寒河江 ☎(83)3225へ。

特別養護老人ホーム長生園 令和5年度職員募集

詳細については、申込先にお問い合わせください。

●募集区分／看護職員・介護職員
●試験日時／10月14日(金)午後1時30分
●申込／9月30日(金)まで特別養護老人ホーム長生園 ☎(86)8868へ。

心の健康を考える うつ病家族教室

●日時／9月27日(火)午後2時～4時
●会場／村山総合支庁本庁舎(山形市)
●申込／9月20日(火)まで村山保健所保健企画課 ☎023(627)1184へ。

くらしとおかねの講演会

身近なお金の話から資産運用まで、金融知識を学びます。
●日時／10月22日(土)午後1時～5時

市スポーツ協会、アスリートさがえ スポーツ教室

【市スポーツ協会主催】
少年少女卓球教室
●日時／9月29日～12月1日の毎週木曜日、全10回、午後7時～8時30分
●会場／市民体育館
●定員／小学3～6年生、20人
●参加費／2800円
●持ち物／ラケット、タオル、飲み物
●申込期限／9月22日(木)
【アスリートさがえ主催】
いきいき健康教室
●日時／9月29日～12月22日の毎週木曜日、全12回、午前10時～正午
●会場／市民体育館ほか
●定員／介護認定を受けていない65歳以上の市民20人
●参加費／6千円
●申込期限／9月22日(木)
●申込／市民体育館 ☎(86)5113へ。

さくらんぼ会館 イベント情報

寒河江市書道会会員展
●日時／9月11日(日)～18日(日)の午前10時～午後5時(最終日は午後4時)
●油絵愛好会絵画展
●日時／9月22日(木)～29日(木)の午前10時～午後5時(最終日は午後4時)
●会場／さくらんぼ会館
●問合せ／さくらんぼ会館 ☎(86)1818へ。

●会場／山形テルサ(山形市)
●定員／200人
●申込／日本FP協会東北ブロック事務所 ☎(0120)874251へ。

県就職氷河期世代技能検定 手数料支援事業費補助金

県では、就職氷河期世代の技能向上および就職促進のため、就職氷河期世代の求職者が技能検定を受検する場合の受検手数料を補助します。申請方法など、詳細は県ホームページをご覧ください。

●対象／令和4年度技能検定受検者のうち、就職氷河期世代の求職者で県内の職業安定所の職業相談を受けている方
●補助上限／1万8200円
●問合せ／県雇用・産業人材育成課 ☎023(630)2378へ。

業務改善助成金(通常コース) 申請期限延長

業務改善助成金(通常コース)の申請期限が、令和5年1月31日(火)に延長されました。設備投資などで生産性を向上させ、事業場内で最も低い賃金の引き上げを図る中小企業・小規模事業者を支援する助成金です。詳細については、厚生労働省のホームページをご覧ください。
●問合せ／業務改善助成金コールセンター ☎(0120)366440へ。

9月の行事予定

5月	
6(火)	市ドック
7(水)	ゆめはーと寒河江「祖父母の日」/南部ひまわりこども園園庭開放/3歳6カ月児健診/フローラ・SAGAE 休館日
8(木)	健康相談/市民浴場休場日
9(金)	離乳食後期教室
10(土)	さがえちえり〜マルシェ朝市
11(日)	休日当番医 (鬼海小児科)/証明書交付窓口開庁 (午前)
12(月)	市立図書館休館日
13(火)	こころの健康相談/助産師個別授乳相談/南部・柴橋・西部地区公民館休館日
14(水)	法律相談/柴橋おひさまこども園園庭開放/1歳6カ月児健診
15(木)	寒河江八幡宮例大祭/放生会/神楽の夕べ/一般相談・登記相談・行政相談/健康相談
16(金)	市ドック
17(土)	古式流鏝馬/ふるさと芸能まつり/やきとりバル
18(日)	古式・作試し流鏝馬/神輿ウォッチング/神輿の祭典/読書講演会/「鎌倉殿の13人」スペシャルトークショー/休日当番医 (あきば医院)/証明書交付窓口開庁 (午前)/ハートフルセンター休館日
19(月)	寒河江さくらんぼ大学特別公開講演/休日当番医 (土田内科医院)
20(火)	不登校・ひきこもり相談
21(水)	ゆめはーと寒河江「9月生まれのお誕生会」/9〜10カ月児健診
22(木)	ゆめはーと寒河江「ファミサポ活用術」/健康相談/産後おしゃべりサロン/レディース検診
23(金)	休日当番医 (あびこ耳鼻咽喉科クリニック)
24(土)	大江公シンポジウム
25(日)	埋蔵文化財フェア講演会/スケートボードビギナーズスクール/慈恩寺十景ウォーク/休日当番医 (大原医院)/証明書交付窓口開庁 (午前)
26(月)	市長相談/市立図書館、市民体育館、チェリーナさがえ休館日
27(火)	ゆめはーと寒河江「赤ちゃんマッサージ」/助産師個別授乳相談/市ドック/中央公民館休館日
28(水)	フローラ・SAGAE 休館日
29(木)	ゆめはーと寒河江「わらべうたであそぼう」/健康相談/3〜4カ月児健診
30(金)	国民健康保険税 (3期)、介護保険料 (3期)、後期高齢者医療保険料 (3期) 納期限/保健師個別育児相談/離乳食前期教室/市ドック
10/1(土)	ゆめはーと寒河江「小学生の日」/市ドック
2(日)	休日当番医 (折居内科医院)/証明書交付窓口開庁 (午前)
3(月)	
4(火)	ゆめはーと寒河江「親子交通安全教室」/プレママサロン

■次号の市報9月20日号は、9月20日(火)に発行します。

生活習慣を見直そう 「健康増進普及月間」

厚生労働省では、国民一人一人が健康に対する自覚を高め、健康づくりを推進していくため、毎年9月を「健康増進普及月間」としています。この機会に自身の運動・食事・禁煙などの生活習慣を振り返ってみましょう。健康に関する展示を行いますので、ぜひご覧ください。

- 展示期間/9月30日(金)まで (18日(日)を除く)
- 展示会場/ハートフルセンター
- 問合せ/市健康福祉課市民健康係 ☎85-0973へ。



9月16日(金)〜10月16日(日)は 「やまがたSDGs推進月間」

SDGs (持続可能な開発目標) は、誰一人取り残されることのない、持続可能でより良い社会を目指す世界共通の目標です。県では、県全体でSDGsの実現に向けて行動する「やまがたSDGs推進月間」を設定します。家事を平等に分担する、食べ残しをなくすなど、SDGsの実現に向けて取り組んでみましょう。取り組み事例など詳細は、県ホームページをご覧ください。

- 問合せ/県みらい企画創造部企画調整課 ☎023-630-2895へ。



ふれあいゆずりあいコーナー (8月25日現在)

問い合わせいただいた方に、各提供者等の連絡先をお伝えしますので、直接交渉してください。

- あげます/紙オムツ、ポータブルトイレ、足裏マッサージ機、マッサージチェア、テーブル、折りたたみ座卓、座卓、茶だんす、飾り棚、本棚、和だんす、洋服だんす、鏡台、スチームアイロン
- 譲ります (有償)/冷凍庫、介護用ベッド (電動式)、パイプハンガー (ダブル)、オイルヒーター、電気ストーブ
- 譲って/背負式動力噴霧器、猫飼養用品

=子育てゆずりあいコーナー=

- あげます/自転車、ランニングバイク
- 譲ります (有償)/自転車、ヘルメット、男子学生服 (県立東桜学館)
- 問合せ/市市民生活課地球温暖化対策室 ☎85-1914へ。

危険物取扱者・消防設備士 免状を書き換えください

消防法令では、免状交付の日から10年以内ごとの写真の書き換えが規定されています。免状の期限を確認の上、書き換えを行ってください。

- 申請書設置場所/西村山広域行政事務組合消防本部ほか
- 問合せ/消防試験研究センター山形県支部 ☎023(631)0761へ。

- 期日/11月26日(土)
- 会場/ヒルズサンピア山形 (山形市)
- 願書設置場所/西村山広域行政事務組合消防本部ほか
- 申請/電子申請は10月8日(土)〜17日(月)、書面申請は10月11日(火)〜20日(木)に消防試験研究センター山形県支部 ☎023(631)0761へ。

消防設備士試験 (甲・乙種)

- 期日/10月22日(土)
- 会場/山形工業高等学校 (山形市)
- 願書設置場所/西村山広域行政事務組合消防本部ほか
- 申請/電子申請は9月12日(月)まで、書面申請は9月15日(木)まで消防試験研究センター山形県支部 ☎023(631)0761へ。

危険物取扱者試験 (甲・乙・丙種)

農機による交通事故に注意!

トラクター等の整備不足や操作ミスが転落・横転・追突の事故を引き起こします。農作業中の死亡事故は一般交通事故の約6倍、建設業の約3倍にも及びます。悲惨な農機事故を未然に防ぐためにも、備えるべき機器や操作時の安全確認と予防対策をもう一度考えてみましょう。



特に多い事故

- 運転操作ミスや道路環境が悪いことによる田畑や水路等への転落
- 農機は通常の車に比べ重心位置が高いため、傾斜地等でバランスを崩しての横転
- 傾斜地等で自然に動き始めた農機にひかれる事故

事故防止の対策

- 確実な運転操作とブレーキ連結の確認
- 安全キャブ・フレームの装着とシートベルト、ヘルメットの着用

- 問合せ/市市民生活課生活安全係 ☎85-1876へ。

納税は口座振替が便利です

口座振替とは、市税等を指定口座から自動引き落としで支払う方法です。各納期に自動引き落としとなるため、納め忘れがありません。

振替できる税目

市県民税 (普通徴収)・軽自動車税 (種別割)・固定資産税・都市計画税・国民健康保険税 (普通徴収)・介護保険料 (普通徴収)・後期高齢者医療保険料 (普通徴収)

振替できる金融機関

山形銀行・荘内銀行・きらやか銀行・山形信用金庫・山形中央信用組合・東北労働金庫・さがえ西村山農業協同組合・ゆうちょ銀行 (郵便局)

申し込み方法

市内の各金融機関に備え付けている「市税等口座振替依頼書兼自動振込利用申込書」に記入し、金融機関窓口でお申し込みください。お申し込みの際は、通帳、届け出印 (銀行印) をお持ちください。

振替開始日

毎月20日までに申し込んだ場合は翌月の納期分から、21日以降に申し込んだ場合は翌々月の納期分から振替を開始します。残高をご確認ください。

- 問合せ/市税務課納税係 ☎85-1741へ。

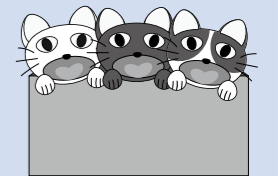


飼い主の分からない猫への餌やりは責任を持って

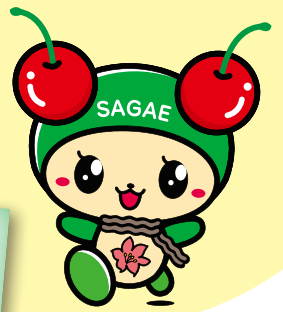
「猫が庭にふん尿をして困っている」、「車を傷つけられた」など、市には猫に関する相談が多く寄せられます。「かわいそうだから」と安易に餌を与えると家に寄りつくようになります。いつの間にか新しい子猫を産んで、1匹に餌をあげていたはずが気付けば4、5匹になっているということもあります。猫は年に2〜4回発情期があり、1回につき4〜8匹の子猫を産みます。不妊・去勢手術を行わなかった場合、1匹の雌猫が子猫を産んで、1年後には20匹以上、2年後には80匹以上、3年後には2000匹以上まで増えるとの試算があります。

何かトラブルが起きた場合、餌を与えていた人が責任を問われ、賠償を命じられることもあります。飼い主の分からない猫であっても、近隣住民に迷惑を掛けないようにするのは、餌や水を与えている人の責務です。餌をあげて終わりではなく、トイレの管理や適切な繁殖制限等、周辺環境への配慮をお願いします。

- 問合せ/市市民生活課生活安全係 ☎85-1876へ。



市民レポーターさくらんぼ特派員が「これはイイ」と感じた市内の観光やグルメ、日常の風景などを自ら取材し、地元の魅力をどんどん紹介していくコーナーです。皆さんの所へ取材に伺った際は、ぜひご協力をお願いします。



市民レポーターさくらんぼ特派員

すぽっとチャンネル



今年の図書館まつりは、山形交響楽団・村川千秋さんの伴奏、音楽療法士・二瓶明美さんの歌、にこにこ音楽子育て支援の会の皆さんによる読み聞かせなど盛りだくさんでした。小さなお子さんたちと一緒に歌ったり、話を聞いたり、楽しい時間でした。(北條幸子)



にしね保育所に、背の高いヒマワリがにっこり並んでいます。にしね保育所のお友だちのように元気いっぱい。きつと子どもたちの元気な声と笑顔で、こんなにすくすく伸びたのでしょうか。子どもたちと一緒に、もっとすくすく伸びていくのかな。(佐藤真由美)



西根にある西村山広域行政事務組合消防本部で、救助隊がロープ渡過の訓練をしていました。毎年大会があるそうです。日々の鍛錬により、いざというときの現場で役立つ体力と筋力を養っているそうです。子どもが憧れる職業なわけですね！(中島弘人)



高瀬山の西側にある寒河江スケートパークは東北最大級。現在約半分を改修していて、今年度中に完成予定だとか。東京2020オリンピックで日本勢大活躍の、スケートボード等のアーバンスポーツ。寒河江からオリンピック選手が出るかもしれません。(五十嵐勝)



Twitterでも特派員が情報配信中 https://twitter.com/sagae_tokuhain

今月の表紙



令和4年度の市はたちの式典が8月14日、市民文化会館で開催されました。会場には278人が出席。式典の様子は、オンラインでも配信されました。式典では佐藤市長が「家族や恩師、友人との出会いを大切に、自分の道を歩んでほしい」と祝辞を述べ、参加者たちを激励しました。

民法の一部改正に伴う成人年齢の引き下げに合わせ、昨年度までの成人式から名称を変更し、はたちの式典として初めての開催となりました。参加者は友人たちとの久々の再開に笑顔を見せ、家族は子どもたちの晴れ姿に目を細めながら、人生の節目を祝いました。

さがえの旬な情報、
ご覧ください！

